

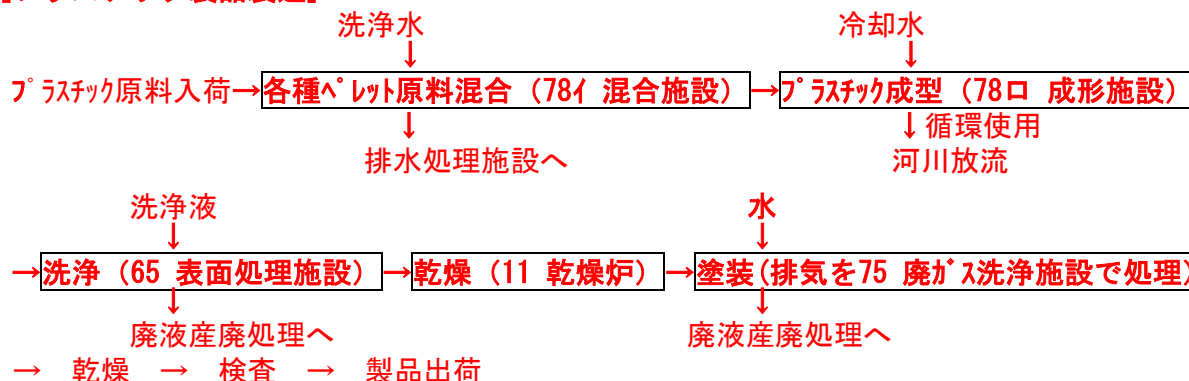
記載例

工場・事業場立入調査票 (令和〇年〇月〇日版)

事業所名	****会社 湖北工場			修正した場合は日付を 更新してください。	
所在地	長浜市**町****				
事業所の代表者	役職：****	氏名：****			
業種	***製品製造業 (※日本標準産業分類一覧 中分類)				
資本金	***千円			日本標準産業分類の中分類のうち 該当するものを記載してくださ	
常用雇用者数	全従業員：**名 ※パート、派遣等も含む	作業時間	定時作業 8:30 ~ 17:15 (交替勤務： <input checked="" type="checkbox"/> 有・無)		
環境管理担当部課	環境保全課	担当者名	**** Tel. ***-*** Fax.***-*** E-mail **@**.jp		
作業状況 ・季節変動： <input checked="" type="checkbox"/> 有・無 「有」の場合、変動状況： 年度末に業務が集中する。 ・時間変動： <input checked="" type="checkbox"/> 有・無 「有」の場合、変動状況： 午後4時から洗浄排水が増加する。		作業状況による環境負荷（排ガス量、排水量等）の変動内容の詳細を記載してください。			
生産品目または取扱品	品目	生産量/年	使用原材料	原材料・資材・補材(燃料含む)	使用量/年
	△△△△	** t		△▲▲▲	** t
	××××	** t		××◆×	** t
	○○○○	** m ³		○●○○●	** m ³
◇◇◇◇	** 百万円				
個数や重量などで、生産量等の実績がわかるように記載してください。					

○ 生産工程図（フローシート） ※ 別紙添付可

[プラスチック製品製造]



注1) 汚水・廃液、排ガス等が排出する工程・施設であることがわかるように記載してください。

注2) 水質、騒音・振動、ダイオキシンに関する特定施設およびばい煙発生施設(VOC、粉じん含む)に該当するものには**太枠**で囲むこと。

水質関係

○ 特定施設・有害物質貯蔵指定施設の有無 有・無 (有の場合、以下に記載してください。)

特定施設項番号 ※		種類	設置 基数	使用する水質有害物質
水濁法	県条例			
65		酸又はアルカリによる表面処理施設	2基	ふっ素化合物 (No. 1) 硝酸 (No. 2)
75		廃ガス洗浄施設	3基	なし
	78イ	混合施設	2基	なし
	78ロ	成形施設	2基	なし

※ 水質汚濁防止法に掲げる特定施設

水質有害物質は、別紙1「水質汚濁防止・土壌汚染防止有害物質の使用状況チェックシート」のうち1番～28番の物質を記載し、括弧書き内は届出に記載の貴社内において設定した施設名(施設番号)を記載してください。

番号	有害物質貯蔵指定施設名	設置場所	水質有害物質	(t, KL)	防液堤等
1	東タンク1	準備棟北側(屋外)	硝酸	10KL	防液堤(10m ³)
2	南タンク5	第2工場南側(屋外)	硝酸	30KL	防液堤(50m ³)
3	ドラム缶(固定)	第1工場工務室	ふっ化水素水	0.2KL	トロ舟(220L)

○ 有害物質等の使用状況

- 有害物質の使用 →別紙1 「水質汚濁防止・土壌汚染防止有害物質の使用状況チェックシート」に記載してください。
- 油類や指定物質の使用 →別紙2 「水質汚濁防止法『事故時の措置』が必要な物質の使用状況チェックシート」に記載してください。

○ 有害物質使用特定施設等の構造等基準適合状況等 (別紙添付可)

※ 「有害物質使用特定施設(有害物質貯蔵指定施設)の構造等に関する基準及び対応する定期点検項目確認表」別紙3を参考に記載してください。

・施設名(種類)	No.1 洗浄槽(65 酸又はアルカリによる表面処理施設)
・構造基準	(<input checked="" type="checkbox"/> A基準 ・ B基準) に適合
・定期点検	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 (点検頻度: 2 回/年)
・管理要領	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無
・施設名(種類)	No.2 洗浄槽(65 酸又はアルカリによる表面処理施設)
・構造基準	(<input checked="" type="checkbox"/> A基準 ・ B基準) に適合
・定期点検	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 (点検頻度: 2 回/年)
・管理要領	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無

※ 定期点検記録簿と管理要領の代表的なものについて「写し」を提出してください。

○ 用水量・排水量 (m³/日) ※マスバランスシート(用水の使用施設・量の系統図)を添付してください。

用水量 (m ³ /日)		排水量 (m ³ /日)			
種類	量	種類	公共用水域	下水道投入	その他
上水道	70	特定施設排水	20	-	15
工業用水	-	その他の工程排水	10	-	5
地下水	30	生活排水(し尿、食堂等)	-	20	-
		冷却水	25	-	5
用水量計	100	排水量計	55	20	25

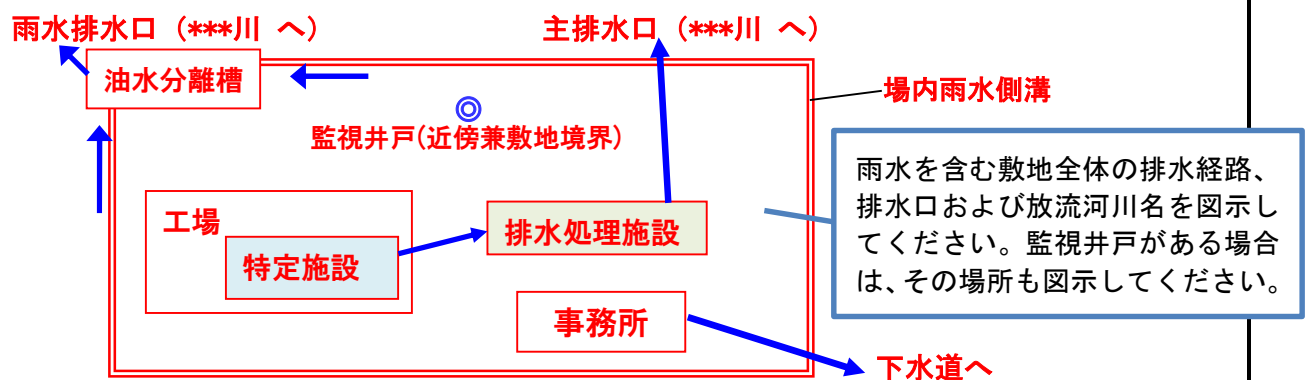
算出には、上水道の料金表等を参考にしてください。

○ 排水の処理方法 ※ 別紙添付可

- ◆**工程系** ⇒ 濃厚廃液は、産業廃棄物として、委託処分
 - ・ 工程系排水 → 曝気槽 → 沈殿槽 → 反応槽 → 凝集沈殿槽 → 滅菌槽 → 河川放流
 - ・ 間接冷却排水 → 油水分離槽 → 河川放流
- ◆**生活系**
 - ・ 生活排水 → 公共下水道
- ◆**雨水**
 - ・ 雨水排水 → 場内側溝 → 油水分離槽 → 河川放流

排水処理をしている場合、排水系統ごとに処理方法(物理化学処理、凝集沈殿、pH調整、活性汚泥、活性炭処理等)の流れを記載してください。別紙に記載して添付いただくことも可能です。

○ 排水経路図 ※別紙 添付可 放流河川名：***川、***川



○ 排水の自主検査 ※ 別紙添付可

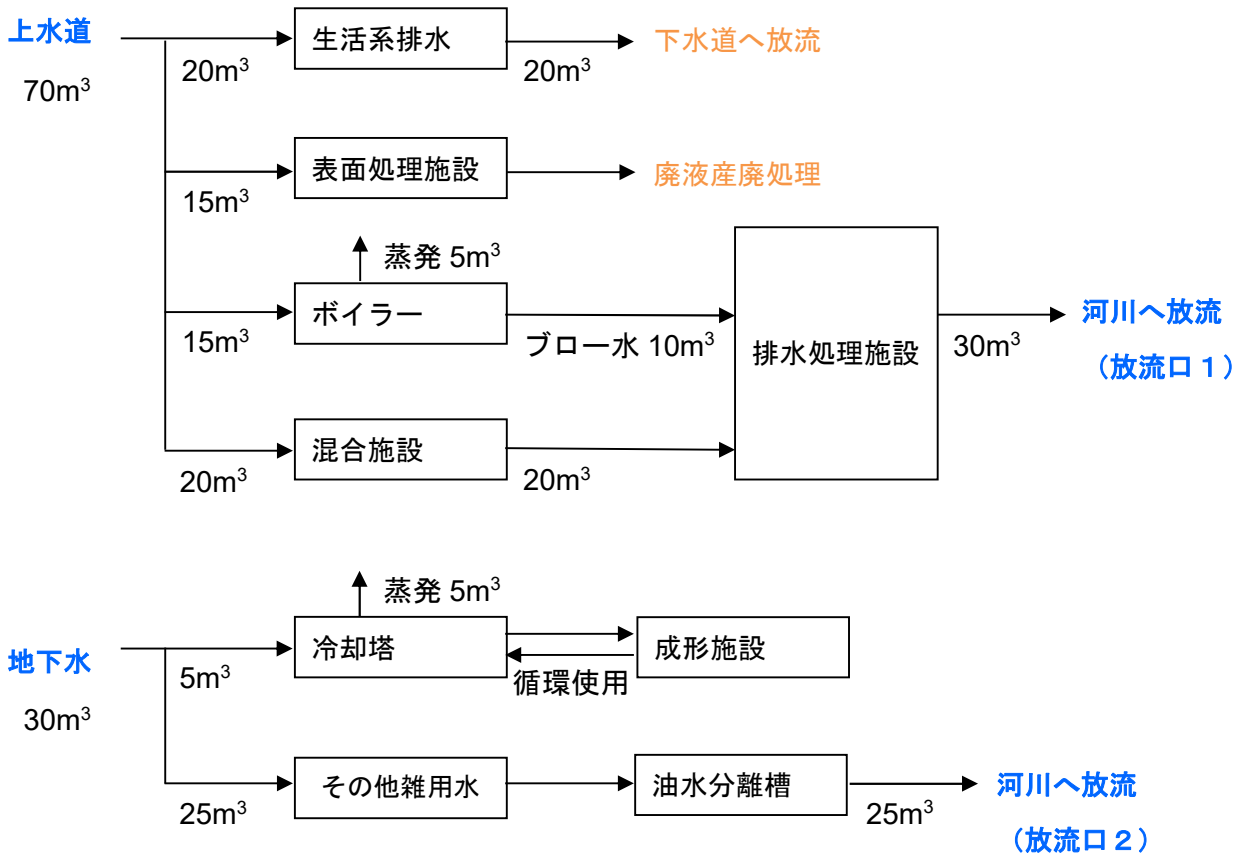
- ・ 排水自主検査の有無 : 有 (測定頻度 : 2 回/年) ・ 無
- ・ 排水自主検査の測定項目 : 一般項目、生活環境項目 (pH、COD、BOD)、
有害物質 (ふっ素化合物、硝酸)

※ 最近の排水自主検査結果の写しを添付してください。

- ・ 排水自主検査の測定場所 : 主排水口 (1 カ所)
- ・ 排水基準への適否 : 適合、 不適合 (不適合項目 :)

マスバランスシート (例)

『用水量』と『排水量+蒸発量+事業所外移動量(製品混入、廃棄物等)』とは同値となることから、記載漏れや量の過不足がないようにしてください。



土壌・地下水関係

○ 有害物質使用特定施設・有害物質貯蔵指定施設の有無 : <input checked="" type="checkbox"/> (物質名: 硝酸)・無
・ 監視井戸の有無 : <input checked="" type="checkbox"/> (公害防止条例第 29 条の 5 に基づく井戸・その他)・無 (有害物質名: ふっ素、硝酸) ※有の場合、その場所を排水経路図に図示してください。
・ 地下水の浄化の有無 : 有 (浄化の方法:)・ <input checked="" type="checkbox"/>
(監視井戸がある場合)
・ 地下水自主検査の有無 : <input checked="" type="checkbox"/> (測定頻度: 1 回/年)・無
・ 地下水自主検査の測定項目: <u>ふっ素</u> ※最近の地下水調査結果(計量証明書等)の写しを添付してください。
・ 地下水環境基準への適否: <input checked="" type="checkbox"/> 、不適合 (不適合項目:)
○ ただし書の確認申請の有無
・ 土壌汚染対策法第3条第1項 : <input checked="" type="checkbox"/> (物質名: 六価クロム)・無
・ 滋賀県公害防止条例第 49 条第 1 項 : 有 (物質名:)・ <input checked="" type="checkbox"/>
○ 指定有害物質使用地 : <input checked="" type="checkbox"/> (物質名: 鉛)・非該当

大気関係

○ ばい煙発生施設の有無 : 有 ・ 無 ・ 無(規模未満のみ)

※有の場合、以下に記載してください。規模未満の施設についても記載してください。

施設番号 ※		種 類	設置 基数	規模 ※	燃料の種類
大防法	県条例				
1		ボイラー	4基	燃焼能力 98ℓ/h、 伝熱面積 15m ²	A重油
1		ボイラー ※届出規模未満	2基	燃焼能力 10、20ℓ /h	A重油
11		乾燥炉	3基	火格子面積 2.7 m ² 燃焼能力 60ℓ/h (重油換算)	L P G
30		ディーゼル機関 (非常用)	1基	燃焼能力 78 ℓ/h	軽油

※ 大気汚染防止法施行令別表第1または滋賀県公害防止条例施行規則別表第2に掲げるばい煙発生施設番号、および届出した規模を記載してください。

○ 揮発性有機化合物(VOC)排出施設の有無 : 有 ・ 無 ・ 無(規模未満のみ)

※有の場合、以下に記載してください。規模未満の施設についても記載してください。

施設番号 ※		種 類	設置 基数	規模 ※
1				
2		塗装施設(吹付)	1基	排風能力 150,000 m ³ /h

※ 大気汚染防止法施行令別表第1の2に掲げる揮発性有機化合物排出施設番号、および届出した規模を記載してください。

○ 粉じん発生施設(一般・特定)の有無 : 有 ・ 無 ・ 無(規模未満のみ)

※有の場合、以下に記載してください。規模未満の施設についても記載してください。

施設番号 ※		種 類	設置 基数	規模 ※
3				
3		ベルトコンベア ※届出規模未満	1基	ベルト幅 45cm
4		破碎機	3基	原動機定格出力 150kW

※ 大気汚染防止法施行令別表第2(一般粉じん発生施設)または、別表第2の2(特定粉じん発生施設)に掲げる番号、および届出した規模を記載してください。

ダイオキシン類排出施設(大気・水質)の有無 : 有・無・無(規模未満のみ)

※有の場合、以下に記載してください。規模未満の施設についても記載してください。

特定施設番号※	種類	設置基数	規模 ※
4	アルミニウム合金の溶解炉	1基	容量5t

※ ダイオキシン類対策特別措置法施行令別表第1、2に掲げる番号、および届出した規模を記載してください。

○ 排ガスの処理方法

- ・ボイラー (NO.1~NO.4) → 集合煙突1
- ・乾燥炉 (NO.1~NO.3) → 集合煙突2
- ・ディーゼル機関 → 煙突3

施設ごとに処理方法を記載してください。

- ・乾燥施設、塗装施設、溶解炉 → 蓄熱式脱臭装置 → 排気(ダクト1)

○ 排ガスの自主検査 ※ 別紙 添付可

・排ガス自主検査の有無 : 有 (測定頻度 : 2 回/年) ・ 無

・排ガス自主検査の測定項目 : ばい煙(ばいじん、SOx、NOx)、VOC

※ 最近の排ガス自主検査結果の写しを添付してください。

・排ガス規制基準への適否 : 適合、不適

報告対象未満であっても、使用している対象物質名と使用量等を記載してください。対象物質の名称や含有量は、製品のSDS(安全データシート)や成分表をご確認ください。灯油やA重油にも対象物質が含まれています。

化学物質・フロン関係

○ PRTR 法対象物質の使用の有無 : 有

対象物質 ※	使用量 (t/年)	使用用途	貯蔵方法	漏洩防止対策
キシレン	0.5 t / 年	塗料中成分	18L 缶、塗料倉庫	SUS 製受皿の設置
トルエン	0.8 t / 年	塗料中成分	18L 缶、塗料倉庫	SUS 製受皿の設置
灯油	2.4 t / 年	A 重油成分、原料	100KL 地上タンク、 10KL 地上タンク	防油堤

※ 特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律(PRTR 法) 施行令別表第1に掲げる第一種指定化学物質を記載してください。

・第一種指定化学物質の排出量及び移動量の届出書提出 有 ・ 無

(提出日 : 令和*年**月**日)

○ 液体物質(油類・液体原料・排水(処理前・廃液等)の貯蔵方法および漏洩防止対策

※固体・気体は除く。貯蔵量は平均

事業場で保有している液体物質について記載してください。この項目は、PRTR 法の対象物質かどうかに関係なく記載してください。

物質	貯蔵量 (t, KL)	貯蔵方法	漏洩防止対策
A 重油	50KL	100KL 地上タンク	防油堤
灯油	10KL	10KL 地上タンク	防油堤
軽油	30KL	100KL 地上タンク	防油堤
廃アルカリ	180L	18L 缶	防液堤

○ 第一種特定製品（業務用空調、冷蔵・冷凍機器）の設置台数 ※フロン排出抑制法の対象機器であり、家電リサイクル法の対象機器は除く。

原動機の出力	7.5kW 未満	7.5kW 以上 50kW 未満	50kW 以上
空調機器	3台	1台	0台
冷蔵・冷凍機器	2台	0台	

※「空調機器」とは、室内を冷暖房する機器類(スポット機器以外のフロンを使用する冷蔵・冷凍機器で、コンプレッサー用冷却機器等も「第一種特定製品」に該当する。

簡易点検の点検項目「熱交換器への霜の付着の有無」が抜けていないか注意してください。

○ 点検および整備に係る記録の保存の有無：有・無

※ 第一種特定製品の点検・整備結果等を記載した点検記録簿(簡易・定期)の代表的なものの写しを提出してください。なお、簡易点検項目が分かる資料も提出してください。

○ フロン類の漏えいの有無：有(漏えい量： Kg/年)・無

滋賀県 CO₂ ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

○ 事業者行動計画書(滋賀県 CO₂ ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例第 25 条)

- 前年度に使用した主要なエネルギーの実績を記載してください。

電気： 3,000 [千 kWh]、都市ガス： 800 [千 m³]、液化石油ガス： _____ [t]

重油： 1,000 [kL]、灯油： _____ [kL]、その他 ()： _____ []
- 原油換算エネルギー使用量

原油換算： 2,709 kL

※ 原油換算が、1,500kLに相当する各エネルギーの使用量(目安)

⇒ 電気：約6,700千kWh、都市ガス：約1,300千m³、灯油：約1,600kL、A重油：約1,500kL
- 事業者行動計画書の提出の有無：有・無 (直近の提出日：令和*年*月**日)

○ CO₂ ネットゼロ社会づくりの取組 ※別紙添付可

- 事業所におけるエネルギー削減、CO₂ 削減の取組状況

LED 照明への切り替え変更

コンプレッサー台数削減

チェックシートを用いて取組内容を整理し、具体的な取組内容を記載してください。

※ 別紙4「エネルギー削減、CO₂ 削減の取組状況チェックシート」にも記載してください。

○ アイドリングストップに係る措置(滋賀県 CO₂ ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例第 43 条第 2 項)

- 500m²以上の駐車場(概ね 40 区画以上)の有無：有・無
- アイドリングストップに係る措置の内容 (**啓発用看板の設置等**)

騒音・振動・悪臭関係

○ 騒音特定施設の有無： <input checked="" type="checkbox"/> 有・無（騒音規制区域：第1種、第2種、第3種、 <input checked="" type="checkbox"/> 第4種）			
特定施設番号※	種類	設置基数	規模※
2	空気圧縮機	5基	7.5kw
3	破碎機	1基	150kw
※ 騒音規制法施行令別表第1に掲げる項番号および規模を記載してください。			
○ 振動特定施設の有無： <input checked="" type="checkbox"/> 有・無（振動規制区域：第1種、第2種-I、 <input checked="" type="checkbox"/> 第2種-II）			
特定施設番号※	種類	設置基数	規模※
2	圧縮機	5基	7.5kw
3	破碎機	1基	150kw
※ 振動規制法施行令別表第1に掲げる振動発生施設項番号および規模を記載してください。			
○ 騒音・振動苦情の有無： <input checked="" type="checkbox"/> 有・無 (内容) ・近隣住民から騒音苦情があり、防音壁を民家側に設置した。その以降は、苦情なし。 有の場合、対応期間 平成30年4月～平成30年6月 (<input checked="" type="checkbox"/> 終了・継続中)			
○ 特定悪臭物質使用の有無： <input checked="" type="checkbox"/> 有・無（規制区域： <input checked="" type="checkbox"/> 一般区域、規制区域外） ※ 別紙5「悪臭防止法特定悪臭物質チェックシート」に記載してください。			
○ 悪臭苦情の有無： <input checked="" type="checkbox"/> 有・無 (内容) アンモニア臭があるとの苦情申立てがあったため、現在保管庫を建設中。 ・有の場合、対応期間 令和*年4月～ (<input checked="" type="checkbox"/> 終了・継続中) ※自主検査結果がある場合、最近の騒音、振動、悪臭の自主検査結果の写しを添付してください。			

廃棄物関係

<ul style="list-style-type: none"> 産業廃棄物保管場所の法令に基づく 掲示板 (60cm×60cm 以上) の設置の有無 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> 産業廃棄物管理票交付等状況報告書提出の有無 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 (電子マニフェスト利用) ・ 未提出 (提出日 : 令和*年*月**日)
<ul style="list-style-type: none"> 電子マニフェスト利用の有無 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 [電子マニフェストの利用開始時期 : 令和元年4月] 、[紙マニフェストとの利用比率 : 約 90%]
<ul style="list-style-type: none"> 届出規模未満の廃棄物焼却炉※の有無 : 有 (基) ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無 ※ 電子マニフェストを導入した事業者であっても、紙マニフェストを用いた場合は、交付した紙マニフェスト分については報告書を提出する必要があります。 <small>置法は:50kg/h 以上の焼却炉</small>
<ul style="list-style-type: none"> PCB使用機器(使用中)の有無 : 有(トランス・コンデンサー・安定器・その他) ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
<ul style="list-style-type: none"> 特別管理産業廃棄物管理責任者の選任の要否 : <input checked="" type="checkbox"/> 要 (有資格者 : ** ***) ・ 否 特別管理産業廃棄物の種類 : 廃酸
<ul style="list-style-type: none"> 多量産業廃棄物排出事業者による減量化計画の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 → (直近の計画書の提出日:令和*年*月**日) (産業廃棄物を年間 1,000t、特別管理産業廃棄物を年間 50t 以上を排出する事業者) ※ 排水処理施設から発生する汚泥量は、脱水施設で処理する前とする。

環境管理体制

○公害防止管理者法に基づく公害防止管理者等選任状況(選任の必要性)の有無: <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無			
	必要な資格区分	統括者・管理者の氏名 (保有 資格)	代理者の氏名 (保有 資格)
公害防止統括者	統括管理する者 (例:社長、工場長等)	工場長 ** ** *	副工場長 ** ** *
主任管理者	選任不要	()	()
公害防止管理者	水質	第2種 ** ** * (水質1種)	** ** * (水質2種)
	大気	第4種 ** ** * (大気1種)	** ** * (大気4種)
	粉じん		()
	ダイオキシン		()
	騒音		()
	振動		()

設備トラブルや災害等により、将来的に化学物質や油が漏えいして河川などの地域環境に影響を与える環境事故を想定し、リスクを抽出してください。

○ 環境事故の想定訓練・体制
・ 想定される環境事故の種類： ① 重油の流出事故 ② 酸廃液の流出事故
・ 水害(洪水)ハザードマップの浸水想定区域 「200年に一度の大雨が降った場合(時間 131mm 程度)」に想定されている最大浸水深を選択してください。 (区域外、0.1～0.5m未満、0.5～1.0m未満、 1.0～2.0m未満 、2.0～5.0m未満、5.0m以上) ※ 浸水想定区域は、滋賀県ホームページ「地先の安全度マップ」(https://shiga-bousai.jp/dmap/top/index)や、各市ホームページより確認してください。
・ 環境事故等対応手順書等の作成の有無： <input checked="" type="checkbox"/> 有・無
・ 環境事故対应用資材の有無： <input checked="" type="checkbox"/> 有・無 ・ 事故対应用資材の種類と保管量： オイルフェンス(10m)1基、オイル吸着剤 50m、土嚢 10 袋、水中ポンプ3基
・ 環境事故対応訓練実施の有無： <input checked="" type="checkbox"/> 有・無 (直近の訓練実施日： 令和*年*月*日) (訓練の内容： 油流出事故の対応訓練)
・ 事業所外への緊急連絡体制の有無： <input checked="" type="checkbox"/> 有・無 有の場合、「緊急連絡体制表」を添付してください。
○ 環境マネジメントシステム取得の有無 (ISO14001 、エコアクション 21 等)： <input checked="" type="checkbox"/> 有・無 ・ 認証機関： **** ・ 認証取得の時期： 平成3年9月6日
○ 公害防止(環境保全)協定締結の有無： <input checked="" type="checkbox"/> 有・無 ・ 公害防止協定の締結先： 長浜市 ・ 協定締結の時期： 昭和63年3月11日

環境保全に資する取組について

○ 貴事業場の環境保全に資する取組について、次の対象があれば記載してください。

※別紙添付可

・ 対象:化学物質の排出抑制、環境事故の未然防止のための取組など

例:○ 地元地域とのリスクコミュニケーションに関する取組について

- 化学物質の段階的な排出抑制について
- 油類、薬品等の保管方法など、事故の未然防止のための取組について
- 環境事故発生時の被害の拡大防止対策について

【地元地域とのリスクコミュニケーション】

- ・ ばい煙、排水等の検査結果をHPに掲示している。
- ・ 地元自治会の工場見学を案内し工場を公開している。

【環境事故の未然防止・発生時の被害の拡大防止対策】

- ・ 工場内の排水経路（工排、雨水）がすぐに識別できるようにしている。
- ・ 水質事故時に土のうを置く場所（水路）に直接印を付けている。
- ・ 工場から主要河川までの流出経路を把握し、事故時の対応箇所を社員に周知している。
- ・ 油事故拡散防止のため、近隣事業場と情報交換・相互応援の約束を交わしている。

・ 対象:地域の環境保全や環境向上のための取組など

例:○ 地元地域を対象とした環境学習などの取組について

- 事業場見学会などの環境啓発への取組について
- 環境保全活動に対する寄付、物的支援および人的支援関与について
- 定期的な清掃活動などの環境美化活動の取組について

【環境学習・啓発】

- ・ 地域の環境財産である〇〇の保護についての学習会を行っている。

【環境保全活動に対する支援関与】

- ・ 環境保全団体「〇〇〇」が行っている～の活動取組に定期的に社員が参加している。

【環境美化活動】

- ・ 毎年環境の日等の琵琶湖湖岸清掃に参加するとともに、独自に事業場周辺の清掃を定期的に行っている。
- ・ 事業場周辺の県道を対象に、終業時に定期的にエコフォスター活動を行っている。

※ 管内の各事業場における環境保全に関する取組の向上を図るため、事例を取りまとめの上、他の事業場での取組の参考としていただけるよう研修会等で簡単にご紹介させていただく場合があります。

[添付資料一覧表 チェックリスト]

(※記載もしくは添付資料がある場合のみレ点チェックしてください。)

No	添付資料の名称	有無 (レ点)	立入調査票のリンク先
1	生産工程図(フローシート)	レ	事業概要 (1 ページ)
2	別紙1「水質汚濁防止・土壌汚染防止有害物質の使用状況チェックシート」	レ	水質関係 有害物質等の使用状況 (2 ページ)
3	別紙2「水質汚濁防止法の『事故時の措置が必要な物質の使用状況チェックシート」	レ	水質関係 有害物質等の使用状況 (2 ページ)
4	別紙3「有害物質使用特定施設等に係る構造基準等の確認票」による定期点検の記録	レ	水質関係 有害物質使用特定施設等の構造基準適合状況等 (2 ページ)
5	有害物質使用特定施設の「管理要領」	レ	水質関係 有害物質使用特定施設等の構造基準適合状況等 (2 ページ)
6	用水量・排水量(m ³ /日)の「マスバランスシート」	レ	水質関係 用水量・排水量 (3 ページ)
7	工場排水の処理方法(フローシート等)	レ	水質関係 排水の処理方法 (3 ページ)
8	工場敷地内の排水経路図	レ	水質関係 排水経路図 (3 ページ)
9	「工場排水等の自主検査結果 (計量証明書)」	レ	水質関係 排水の自主検査 (3 ページ)
10	「有害物質使用特定施設・貯蔵指定施設および監視井戸の配置図」	レ	土壌・地下水関係 有害物質貯蔵指定施設および地下水監視井戸 (4 ページ)
11	「地下水の自主検査結果 (計量証明書)」	レ	土壌・地下水関係 監視井戸の自主検査 (4 ページ)
12	「排ガス等の自主検査結果 (計量証明書)」	レ	大気関係 排ガス等の自主検査 (5 ページ)
13	「第一種特定製品の点検及び整備の記録」	レ	フロン関係 第一種特定製品の点検整備 (6 ページ)
14	別紙4「エネルギー削減、CO ₂ 削減の取組状況チェックシート」	レ	CO ₂ ネットゼロ社会づくりの取組 エネルギー削減・CO ₂ 削減取組 (6 ページ)

15	エネルギー削減、CO ₂ 削減の取組状況	レ	CO ₂ ネットゼロ社会づくりの取組 エネルギー削減・CO ₂ 削減取組 (6 ページ)
16	別紙 5「悪臭防止法 特定悪臭物質チェックシート」	レ	騒音・振動・悪臭関係 特定悪臭物質の使用状況(7 ページ)
17	騒音・振動・臭気の自主検査結果(計量証明書)	レ	騒音・振動・悪臭関係 騒音等の自主検査 (7 ページ)
18	「緊急連絡体制表」	レ	環境管理関係 環境事故への対応 (10 ページ)
19	環境保全に資する取組	レ	環境管理関係 環境保全に資する取組 (10 ページ)